

高砂市障がい者自立支援協議会主催

障がいのある方にとっての減災

11月5日(月)13:00-16:00

高砂市ユーアイ帆っとセンター交流スペース1・2・3

手話通訳・要約筆記あり

参加費無料：先着80名



今年は大阪北部地震にはじまり、西日本豪雨、台風21号、北海道での地震と災害が多発しました。これまでに経験したことのないような大きな災害が繰り返し起こる中で、災害への備えや対応にも新しい課題が生まれています。

本研修会では、こうした近年の災害における新しい課題を踏まえて、障がい者が災害にどのように備え、対応すればよいのかを考えたいと思います。

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

講師 宮本 匠



大学生のときに新潟県中越地震（2004年）の被災地に住みながら、被災した山間集落の復興のお手伝いをしたことが私の原点です。

最近では、熊本地震で被災した西原村の災害ボランティアセンターの立ち上げや運営支援にも関わりました。

人口減少が進む中、災害直後の助けあいも、長期的な復興も地域のつながりだけでは限界があり、多様な人々がどのようにつながり、支えあうことが出来るのかを考えたいと思っています。